

- ↔ 広域幹線道路：主要な地点を結び、道路網の骨格を形成する道路
⇒民有地と歩道の一体的な整備や自転車走行空間の確保を推進し、バリアフリーで快適な歩行空間を形成します。
- ↔ 地区幹線道路：広域幹線道路を補完し、通過交通を処理する道路
⇒民有地と歩道の一体的な整備、電線類地中化及び自転車走行空間の確保を推進し、歩車分離された安全で快適な歩行空間を形成します。
- ↔ 地域の人が利用している主要な道路：広域幹線道路や地区幹線道路に接続する道路
⇒道路拡幅や歩道状空地を整備するとともに電線類地中化を推進することで、歩行者が安全で快適に通行できる空間を形成します。
- ↔ つながりの強化：地域と駅方面をつなぐ道路ネットワークの強化
⇒地域と駅方面を安全で快適に繋げるため、道路拡幅や電線類地中化などを推進し、ネットワークを強化します。

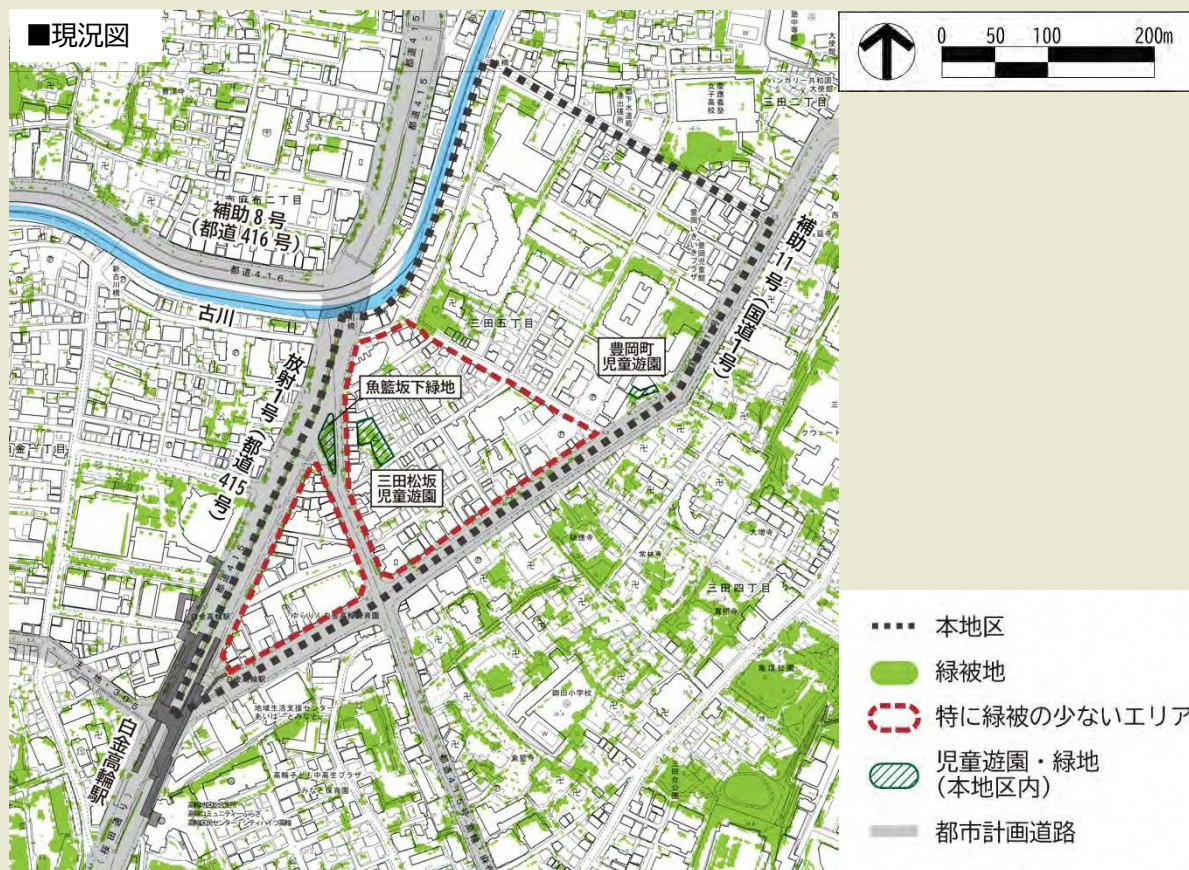
方針 4

緑・水

SDGsのゴールとの関係



本地区に不足している緑やオープンスペースを整備するとともに、古川の親水性の向上を図ること
 であるおいある都市空間の形成をめざします。



- ◇本地区には児童遊園が2か所設置されています。
- ◇全体的に緑被地は少なく、特に高輪一丁目1～3番地、三田五丁目南側エリアではほとんど緑被がみられない状況です。
- ◇本地区に接する古川は、高速道路の高架下となっている箇所もあるため、親水性が乏しくなっています。
- ◇都市計画道路沿いは街路樹が整備されています。

方策1

緑やオープンスペースの確保の推進

- 周辺の児童遊園や緑地との連続性の配慮などによるまとまったオープンスペースの確保や緑化を推進します。
- 接道緑化や壁面緑化などの視認性の高い緑を誘導します。
- 街路樹と民地内の緑化の一体的な整備により緑のネットワークを形成します。

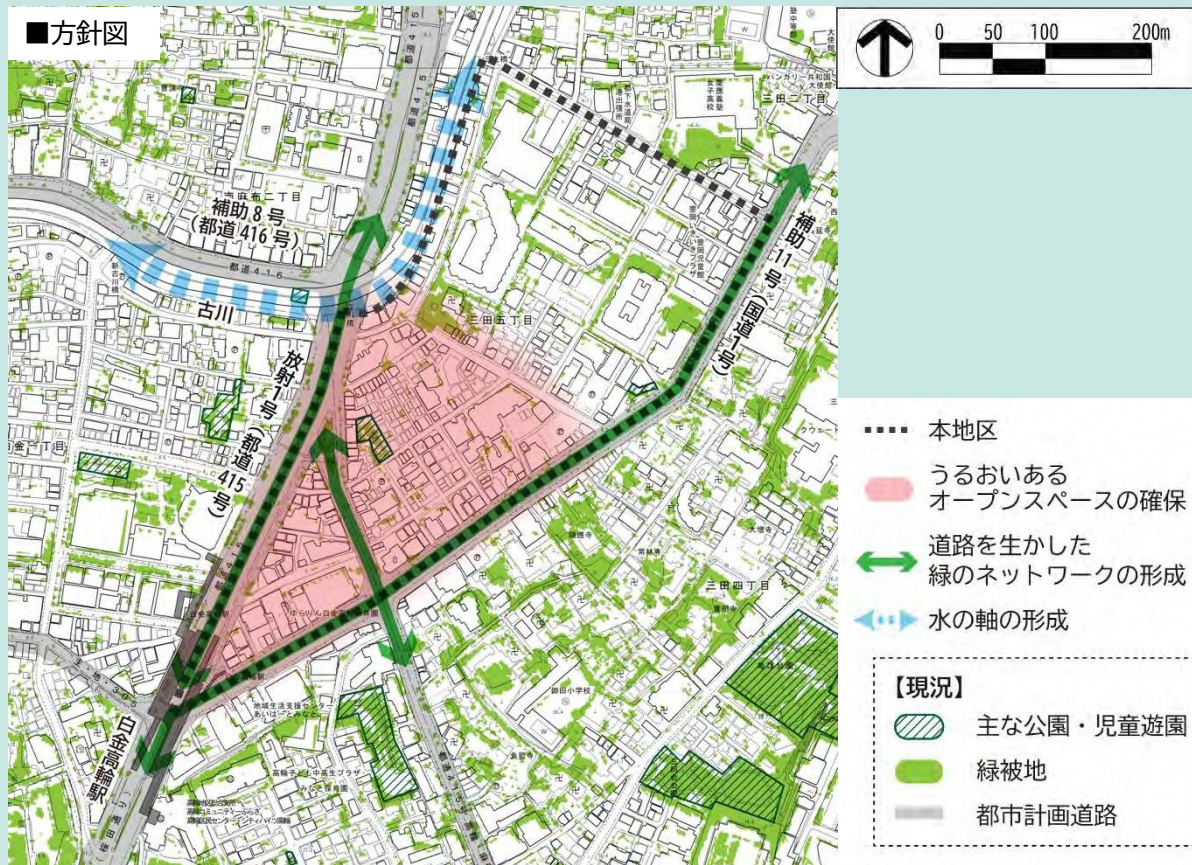
道路と沿道が一体となった
緑陰空間

壁面緑化

方策2

古川の親水性の向上

- 古川沿いでは、親水性の高い水辺空間の整備、連続化などにより、水の軸を形成します。



方針 5

防災・復興

SDGsのゴールとの関係



本地区の課題となっている幅員の狭い道路や老朽化建築物などを解消することで、災害に強いまちをめざします。また、発災時に特に混乱が予想される白金高輪駅周辺においては、地域全体での防災の取組を推進します。



方策1

災害に強い市街地の形成

- 敷地の共同化や街区再編と併せた都市基盤の一体的な整備を推進するとともに、建物の不燃化を促進します。
- 地震発生時の建物倒壊を防止する、建築物の耐震化を促進します。
- 細街路の拡幅整備や電線類地中化など、災害時の通行空間の確保のための取組を推進します。

電線類地中化した事例
(浜松町二丁目)

方策2

都市型水害に強い市街地の形成

- 古川の護岸が改修されるよう、まちづくりの機会を捉え、河川管理者などの関係者へ働きかけを実施します。
- 大雨時の浸水を防止するため、雨水浸透施設などの整備を促進します。
- 関係機関と連携し、下水道などの整備・耐震化を行うことでの治水機能の向上を図ります。

方策3

地域と一体となったエリア防災の推進

- 白金高輪駅周辺においては、帰宅困難者の一時滞在施設や防災備蓄倉庫の確保などエリア防災の取組を推進します。
- 白金高輪駅周辺滞留者対策推進協議会や地域防災協議会など地域の防災活動を支援します。

イベントに出展された
防災ブース

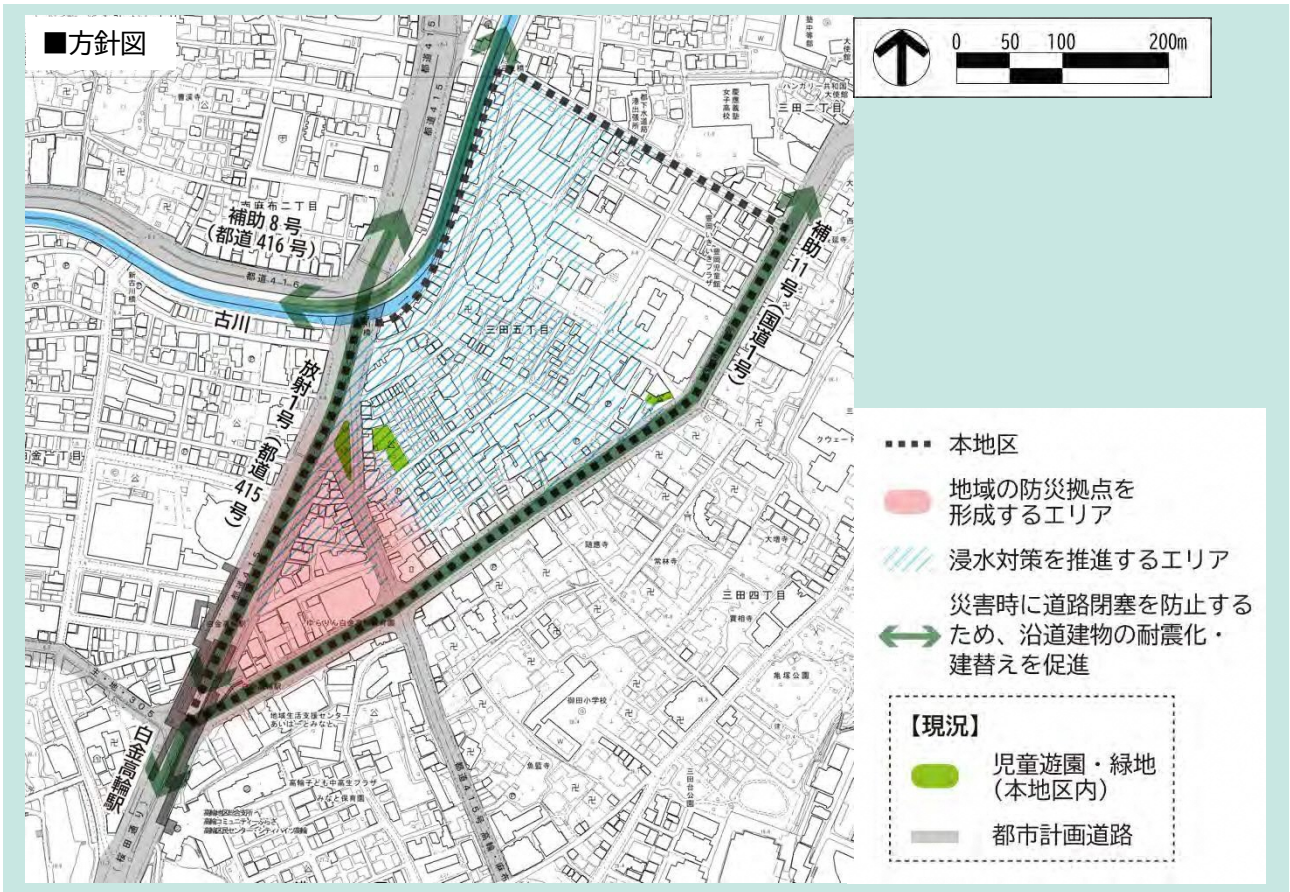
事例の紹介

駅周辺滞留者
対策推進協議会

- ◇区は、主要な駅周辺において「駅周辺滞留者対策推進協議会」を設置し、地震などの大規模災害発生時に想定される滞留者への支援を円滑に行うためのルールの検討や訓練などを行っています。
- ◇本地区の白金高輪駅でも「白金高輪駅周辺滞留者対策推進協議会」が活動し、地域の事業者などが中心となった検討が行われています。



出典：令和2年度港区駅周辺滞留者対策協議会活動報告書／令和3年3月



事例の紹介

本地区の浸水想定 (港区浸水ハザードマップ)

◇区では、下水道や河川の排水能力を大きく超える激しい雨が降った場合の浸水に関する危険性をお知らせし、避難などの適切な対策を講じていただけるよう浸水深さや避難場所を示した浸水ハザードマップを作成しています。

◇浸水シミュレーションは、東京都が作成した浸水予想区域図を基に、想定し得る最大規模の降雨 (時間最大雨量 153mm、総雨量 690mm) を想定しています。



出典：港区浸水ハザードマップ/令和3年6月

◇一般的に、河川沿いは低地であるため浸水の深さが大きくなります。本地区は古川に接しているため、浸水の危険性のある地域であり、古川が氾濫した場合の浸水が想定される「古川氾濫浸水想定区域」の中に、本地区のほとんどが含まれています。

◇方策2に挙げた取組と同時に、個別の建物や敷地において次ページのような取組を行うことで、効果的に水害に備えることができます。

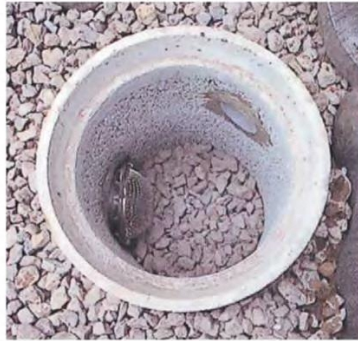
浸水ハザードマップ/港区



事例の紹介

宅地内の水害対策

- ◇雨水を地下に浸透させる施設（浸透ます、浸透トレンチ）を設置することで、宅地内の排水施設から公共下水道に雨水が流入するまでの間に、宅地内で雨水を地中に浸透させることにより、下水道の負荷を軽減し、水害の発生を抑制します。
- ◇また、止水パネルや土のうなどの設置も対策として考えられます。区では土のうを公園などに配置・提供するとともに、高層住宅などに対して止水パネルや水のう（ビニール製の容器に水を入れた、土のうの代わりとなるもの）をはじめとした防災資器材の助成や防災用品のあっせんを行っています。
- ◇「港区防災街づくり整備指針」では、浸水被害の危険性のある地域において、地階を有する建築物の所有者や地下街管理者などは、地階利用の見直しや電気設備の上層階への設置、防水板の設置などの対策に努めることが奨励されています。



浸透ます

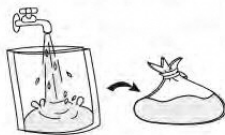


浸透管（浸透トレンチ）

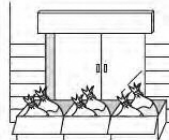
出典：ひろめよう、雨水浸透！（リーフレット）／東京都下水道局

■家庭でできる簡易水防工法

①ごみ袋による簡易水のう工法



40リットル程度の容量のごみ袋を二重にし、中に半分程度の水を入れます。（持ち運べる程度）



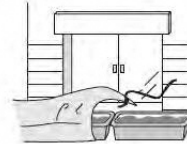
土のうの代わりとして、出入口などにすき間なく並べます。ダンボール箱に入れると強度が増し、中に詰める水のを高く積み重ねることができます

②止水板による工法



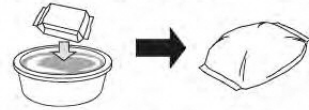
長めの板等を利用し、浸水を防ぎます。板が無い場合は、テーブル・タンス・事務用ロッカー、畳などをのりこむこともできます。

③プランターとレジャーシートによる工法



プランターを並べ、レジャーシートで包み、浸水を防ぎます。

④吸水性簡易土のうによる工法



土のうの代用品として、水にひたすとふくらむ、市販の吸水性簡易土のうで浸水を防ぎます。

浸水ハザードマップ／港区

出典：港区浸水ハザードマップ／令和3年6月



方針 6

景観

SDGsのゴールとの関係



本地区の落ち着いた景観を維持しつつ、寺社や古川などのまちの個性が感じられる街並みの形成をめざします。

方針

まちの個性が感じられる魅力ある街並みの形成

- 幹線道路などの沿道では低層部に店舗やオープンスペースを配置するなど、連続したにぎわいある街並みを創出します。
- 地区内部は道路や隣接する建築物との間隔の確保や道路に面した植栽の配置など、住宅地としての落ち着いた景観を形成します。
- 古川や寺社など地域資源を生かした景観形成を推進します。



落ち着いたきのある住宅地の町並み

制度の紹介

建築物等及び屋外広告物の景観協議

◇区は、平成21年6月1日に港区景観条例を施行し、景観行政団体となりました。そして、景観形成に関する総合的な計画として「港区景観計画」を策定し、本計画に基づき事前協議を行い、行為の届出書を提出していただいています。

<建築物等の景観協議>

◇「港区景観計画」は、港区全域を対象としており、さらに地区に応じた景観形成を目的として、12地区の景観形成特別地区を定め、独自の届出対象規模を設定しています。また、用途地域の区分に応じ届出対象規模や、歴史的建造物の有無による届出対象規模を設定しています。

◇届出が必要となる行為については、港区景観計画に定める「景観形成基準」として、配置、高さ・規模、形態・意匠・色彩、公開空地・外構・緑化等に関して、適合させる必要があります。

◇また、色彩の基準は、マンセル値により、建築物の外壁に使用できる色彩が規定されています。

<屋外広告物の景観協議>

◇屋外広告物が景観形成において重要な構成要素であることから、平成30年度より新たに屋外広告物を事前協議の対象とし、「港区景観計画」に定める配慮事項をわかりやすく解説した「港区屋外広告物景観形成ガイドライン」を策定しています。

◇東京都屋外広告物条例に基づく許可申請が必要な屋外広告物の表示又は設置などをする場合は、港区景観条例に基づき必要書類を提出し、事前協議を行っていただくこととなっています。

建築物等の
景観協議
／港区屋外広告物の
景観協議
／港区

方針 7

低炭素化

SDGsのゴールとの関係



公共交通の利便性の向上やまちに不足している緑を誘導することなどを通じて、ヒートアイランド現象の緩和をめざします。

方策

ヒートアイランド現象の緩和と地球温暖化対策の推進

- 緑豊かなオープンスペースの整備や遮熱性舗装の推進など、ヒートアイランド現象を緩和する取組を推進します。
- 白金高輪駅のアクセス性の向上や自転車利用環境の整備により、環境に配慮した交通環境を形成します。
- 建築物の低炭素化を促進します。



自転車シェアリング
サイクルポート
(みなとパーク芝浦)

制度の紹介

事業者における省エネルギー・省二酸化炭素活動

<港区建築物低炭素化促進制度>

- ◇環境配慮の目標基準の達成及び届出を義務化し、区内の二酸化炭素排出削減とヒートアイランド現象緩和をより強く推進する制度です。
- ◇区内に延べ面積 2,000 m²以上の建築物を新築、増築又は改築する建築主に対し、環境配慮の目標基準の達成、建築物への環境性能表示、各種届出を義務付けます。

<港区地球温暖化対策報告書制度>

- ◇事業者の環境配慮に対する意識の向上及び区民に対する既存建築物の環境性能の見える化を目的として、区内の延べ面積 10,000 m²以上の事業所等の所有者に対し、当該事業所の地球温暖化対策報告書の提出を義務付けます。
- ◇また、延べ面積 300 m²以上 10,000 m²未満の事業所の所有者は、当該事業所の地球温暖化対策報告書を任意で提出できます。

港区建築物
低炭素化
促進制度
／港区



港区地球
温暖化対策
報告書制度
／港区



出典：港区環境基本計画（令和3（2021）年度～令和8（2026）年度）／港区

方策

周辺の地域資源も活用し、多様な人々が集い楽しめるまちづくりの推進

- 本地区周辺の歴史・文化資源や商店街などの観光資源を活用し、本地区を訪れる人々の回遊性の向上を促進します。
- 白金高輪駅を中心に、国内外からの来街者に分かりやすい案内・誘導サインの整備を促進します。
- 代々受け継がれる地域のお祭りなどを大切にしまちづくりを推進します。



本地区周辺に広がる寺町

事例の紹介

本地区周辺の散歩道

◇本地区周辺には、寺社などの歴史・文化資源やにぎわいのある商店街などの観光資源があります。本地区の魅力を感じることができると「散歩道」をイメージしました。

①歴史と緑をめぐる散歩道



白金高輪駅

②商店街をめぐる散歩道



白金北里通り商店会

魚らん商店会



白金高輪駅

